

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月4 : /Mon.4

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111410			
科目番号 /Course Number	10160288			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	医療人類学 : Medical Anthropology			
担当教員名 / Instructor(s)	/(竹田 響) : /TAKEDA Hibiki			
その他/Other	インターンシップ実施 科目 /Internship	国際科学技術コース提供 科目 /IGP	PBL 実施科目 /Project Based Learning	DX 活用科目 /ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による 科目 /Practical Teacher	○	ゲストスピーカーとして、福祉現場の実務に携わっている方からの講義を授業期間内に予定している。	
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 /Objectives and Outline of the Course	
日	<p>本講義は、人間が生まれ、そして死ぬという一連のプロセスの中で、各々が自己ならびに他者の身体をどのように気遣い、また考えるのかについて、受講生が「医療人類学」ならびにその大元にある「文化人類学」という学問領域から考察することを目的とする。</p> <p>文化人類学の一領域とされる医療人類学では、異なる文化や社会的背景を有する人びとが、病気の原因や治療、看護、ケアといった事象についてどのように考え、また向き合っているのかについて、事例を基に考察してきた。人はいかに「病」に向き合い、生活しているのだろうか。ま</p>
英	

学習の到達目標 /Learning Objectives	
日	<p>文化人類学ならびに医療人類学における基本的概念と考え方を説明できる。</p> <p>授業で学んだ多様性を尊重する思考法によって、現代医療における諸課題について考察・分析することができる。</p> <p>患者の生き方や生きる意味を想像し、同じ社会の一員として共に在ることを目指そうとする知的考察を実践できる。</p>
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 /Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第 1 回	授業の概要説明、「異文化」と接するということ（オンデマンド）
	英		
2	日	第 2 回	「文化人類学」とは一人類学を通して考える意味
	英		
3	日	第 3 回	人間の生と「境界」、けがれ①
	英		
4	日	第 4 回	人間の生と「境界」、けがれ②
	英		
5	日	第 5 回	親族・結婚
	英		
6	日	第 6 回	家族・結婚・親族
	英		
7	日	第 7 回	人間の「死」
	英		
8	日	第 8 回	精神疾患
	英		
9	日	第 9 回	医療と出自、「国籍」
	英		
10	日	第 10 回	ゲスト講義① 日本で暮らす外国の人びと
	英		
11	日	第 11 回	医療と「ケア」
	英		
12	日	第 12 回	ゲスト講義 在日外国人と福祉施設
	英		
13	日	第 13 回	医療とジェンダー
	英		
14	日	第 14 回	医療と地域（オンデマンド）
	英		
15	日	第 15 回	まとめ
	英		

履修条件 /Prerequisite(s)	
日	
英	

授業時間外学習（予習・復習等） /Required study time, Preparation and review	
日	本講義に対しては、少なくとも 30 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 /Textbooks/Reference Books	
日	教科書は特に指定しない。 参考文献等については講義中に紹介し、参考資料は適宜配布する。
英	

成績評価の方法及び基準 /Grading Policy	
日	1 平常点（45%） 出席表ならびにコメントシートの提出によって出席確認を行う。（全 15 回の内、6 回以上欠席した場合には単位は付与できません。） 遅刻時間数の合計が 60 分以上の場合には 1 回分の欠席としてカウントする。遅刻の合計が 120 分以上の場合には出席回数を

英	<p>2回分がマイナスされる。病気その他のやむをえない事情は、個別に相談すること。授業開始時間から30分以上遅刻の場合や終了時刻20分以前の退席は出席と見なされない。毎回のコメントシートの点数を合わせて合計45%を平常点とする。</p> <p>2 期</p>
---	---

留意事項等 /Point to consider	
日	<p>【オフィスアワー】</p> <p>授業に関する質問などは、毎回提出するコメントペーパーに記入すること。</p> <p>個別に授業関連の指導を受けたい場合には、授業後、もしくは教員のメールアドレス（初回の授業において通知する）にアポイントメントの予約のメールを送り、調整の上対応する。</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいや健康上の理由などにより授業において配慮が必要な場合には、事前に連絡を取り相談すること。 ・授業中の私語は厳禁とする。他の履修者の集中を妨げる行為があった場合、退室を命じることがあります。
英	